

# ニュージールランド便り

## その一

小島 真子

冬、さすが朝晩は寒さが身にしみませんが、心はポカポカと幸せな気分です。と言うのも、長年の夢が実現したの外国暮らし、見るもの聞くもの珍しい上に人々は親切そのもので、ステイ先のご夫婦など少し年上の私をまるで里帰りした娘のように大切にしてくれています。学校の生徒達(13、18才)も少し行儀が悪いのが気になる程度で皆可愛いし、この学校では日本語が選択科目として正規にあり、テキストもそろってあるので苦労がありません。主任は中国の大学で英語を教えている人で、こちらで日本語を勉強して教えているそうではないので、ときどきまちがう時もあり、誇りを傷つけないよう指摘する事に気を使っています。

この間は選挙対策もあって、この国の女性首相が来校しました。生徒達との一問一答で、「飲酒許可年令の引き下げ」「犯罪が増えたのになぜ警官を減らすか」等だけでなく「なぜ当地に中絶クリニックを設置するのか」まで話題になったのはびっくりしました。さすが弁舌さわやかな対応だったけれど、彼女ひきいるナショナル党の人氣は下がり気味だそうです。ステイ先の御主人によると、医療費その他がある一方で生活が苦しくなり、人々は先に行き不安をもっているとの事、政治は国民多数の為

にあるものなのに、金持ち中心の政策では困る。日本も同じ問題をかかえていると、二人して大いに共鳴したことでした。

夫妻とも働いていて、早朝レッスンのため朝7時20分に迎える車が来る私を皮切りに、あわただしく各自飛び出して行く毎日ですが夕食は3人そろって話をします。英語専門でないのになかなかききとれず苦労ですが、貧弱なボキャブラリかな想像力を駆使してあらゆることを話します。先日など大戦中の日本軍のことに話が及び、後で奥さんに叱られたとご主人がわらっています。

この町は先住民民族であるマオリが1/3を占め、学校でも一緒に勉強しています。集会の時の国歌は両方の言葉で一回ずつ歌われ、一見したところ差別は見当りませんが、生活扶助を受けている人たちもいるとのことで、やはり同じレベルの生活をしているとは言えないようです。とは言うてもアメリカインディアン達が居住地域を指定され隔離されているのと思えば、私の生まれ育った旧満州が「五族協和」を唱えながら民族別の学校であった事も苦く思い出されます。

6月26日から始まる二週間の冬休みには、日本語を勉強した生徒四人が日本へ短期留学をし、私はNZ一周をする予定です。

8月には日本の高校生訪問団が来るので、学校側のホストティーチャーとしてその世話をし、9月にはイギリスに向うつもりです。



### 革新懇総会開く

99年高知県革新懇総会が、7月3日、自由民権記念館で開かれました。

革新懇運動の役割・課題が提案され、規約の一部改正などが承認されました。

「戦争法の発動を許さず憲法を守る」特別決議が採択され、全国革新懇事務局長の「現在の政治状況と革新懇運動」の講演で閉会しました。

高退協からの参加は、5名で、窪田一郎さんが61名の代表世話人として活動されます。

平和行進が、7ヶ所から出発し、300名が市役所前に集結し、平和を誓い「憲法9条」が危い現在もっと運動を高めていかなければならないと、決意を新たにしました。

高退協からの参加は6名で、例年より少しさびしい感がしました。

「その時はすでにおそすぎた」とならないように、がんばりましょう。

### 快音を求めて!

(私の健康法)

梅雨に入って雨が少ないがアジサイ街道の彩りは、平年並みのようだ。今日六月十八日、予報は曇りだったが上天気、朝九時過ぎ、元職場を左に見て、東に向っている。

テニスを始めて二ヶ月近く、週二回、月・金曜日である。始めるきっかけは、元同僚T氏のすすめ。これといった趣味もなく、家に閉じこもりがちな私にとっては、この上ない機会であった。お陰で春野運動公園へと向っている。

さて、コートには常時、二十名程度、九時半から二時間、一時間延長組も。ウオーミングアップ後、ベテランはダブルスのゲーム、初心者組は指導者のもと、基本を。ベテラン組は、楽しそうに笑顔も見せながら、かなり競り合っているようである。

一方、初心者組は球の音が悪い。足と手の動きが合わない。

### 会員の消息

- 富永三雄氏 横浜病院に入院中
- 成瀬孝一郎氏 下司病院に入院中
- 丸山嘉兵衛氏 昨年11月30日より生協病院に再入院
- 西森実男氏 田中整形外科病院に入院中
- 安芸長洋氏 愛宕病院に入院中

小松敏幸先生のお嬢さん ウィーンメロディのCD出す

会員の小松敏幸先生のお嬢さんの小松由佳さんはウイーンで13年間音楽(声楽)の勉強を続けられています。今度はいじめて オペレッタ アリア ヴィーナーリート ワルツを歌ったCDを出されました。好評を博しています。取扱は別記の通りです。ご希望の方はご注文ください。頒価三千元

高知市南万々	一三九一六
土佐楽友会	〇八八
八七二・〇七〇	四
〇一六〇〇一〇	〇
一四四三五二	〇

たまに球がラケットの芯に当たるとピヨーンと快音を発するが連続しては聞こえない。

六月に入り気温が上がると数分の中に汗がたらたらと流れ、呼吸は乱れ、足はバタバタ。それでも指導者は容赦なく球を出してくる。六十才を越えた身には、大変なことこの上もない。だが、ベテラン組も同じ経過をたどったと思えば、ここは辛抱するしかないだろう。

とにかく、この集団が週に二・三度(ベテランの一部は水曜も)も、和気藹々とプレイしている姿を他者が眺めると、けっこううらやましい情景であろう。お互いの健康と親睦、そして連帯感を養ういいクラブだと思う。

今、こうして汗して皆と過ごせることに感謝している。(おの宣)



### 俳句

5月22日土曜 大豊町 ゆとりすとパークおとよ

目印は二基の風車や南吹く 青 幹  
 薫風を載ってオランダ風車廻ふ  
 どの花も片仮名標示初夏の園 たねを  
 二つある風車の一つ南風捕ふ  
 一叢のちらちら風の小判草 みち代  
 アラカシの若葉に風の柔らかし  
 薫風を天空に切り大風車 伸 秋  
 万緑の透明感のたゞ中に  
 百段を水の落ち来る涼しさよ さちを  
 スープにもハーブの香り涼しけれ



